

〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	木田製粉株式会社	記入日	2010/9/24
登録消費材名	国産ブレンド小麦粉強力タイプ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

食品製造業の責務である衛生面の向上、また、異物混入等の事故の低減を目指し、製造担当者共々取り組み、一定の成果が挙げられたと感じています。

農産物を原料としているが故に、収穫量は天候に左右され、産地により品質に差のある原料を使用していますが、可能な限り安定した品質の消費材を提供するよう取り組む所存です。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

自責による異物混入等の事故も発生せず、一定の成果が挙げられたのではないかと思います。今後も引き続き取り組む所存です。

昨年は、北海道産、カナダ産小麦をブレンドしご提供せざるを得ない状況となり、組合員様へご迷惑をお掛けすることとなりました。そのような中、加工性の不具合もなく、ご理解いただきましたことに深く感謝申し上げます。

本年より、消費材の製造工程を一部変更し、更なる異物混入防止対策を施しました。事故防止に向け、継続的な改善を行って参ります。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

本年度(平成22年)産北海道産小麦は、不作であった平成21年産小麦よりは良好な状況ではございますが、平年並の作柄とは言えず、好ましくない状況にあると聞き及んでおります。現段階で、全道の収穫量が確定していな状況にありますが、可能な限り北海道産小麦のみを使用した消費材の供給に努めていく所存です。しかしながら、北海道産小麦のみを使用できない状況となりました場合は、ご容赦下さいますようお願い致します。